

日本水道協会の広報の取組みについて

～一般向け広報イベント～

令和8年2月3日

令和7年度上下水道事業経営セミナー

公益社団法人日本水道協会
調査部調査課

広報係長 初芝 美寿々

1. 水道事業の原則

■ 水道の原則

清浄にして豊富低廉な水の供給を図り、もつて公衆衛生の向上と生活環境の改善とに寄与すること（水道法第1条）

■ 経営の原則

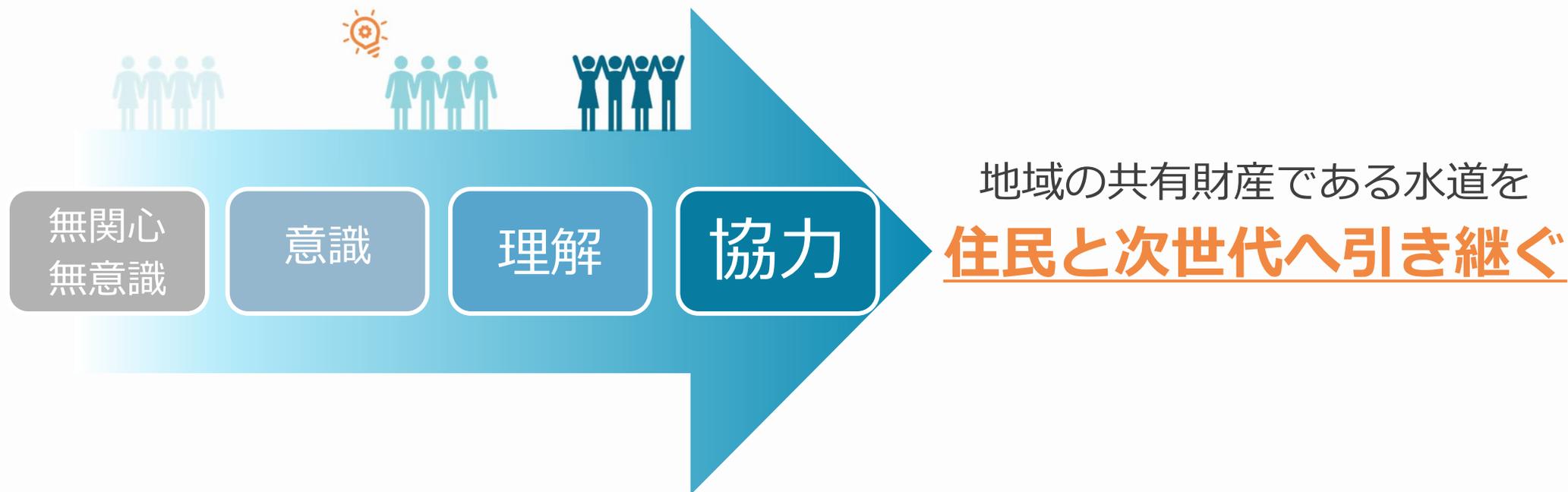
- ▶ 独立採算制
- ▶ 地域独占

▷ 先人たちの並々ならぬ努力により
国民皆水道をほぼ達成（普及率98%以上）

2. 水道広報の役割①

■ 無意識から意識へ

水が出るのは当たり前ではない



地域の共有財産である水道を
住民と次世代へ引き継ぐ

■ 課題に対する広報に期待される効果

広報が果たす役割は大きい

● 課題

○ 料金改定

○ 更新工事

○ 人材不足

○ 災害対策

● 効果

○ 料金改定への理解

○ 協力（クレーム減）

○ 新規人材確保

○ 断水への理解・自助（備蓄水）



現状・課題・魅力
の発信

3. 日本水道協会の一般向け広報イベント

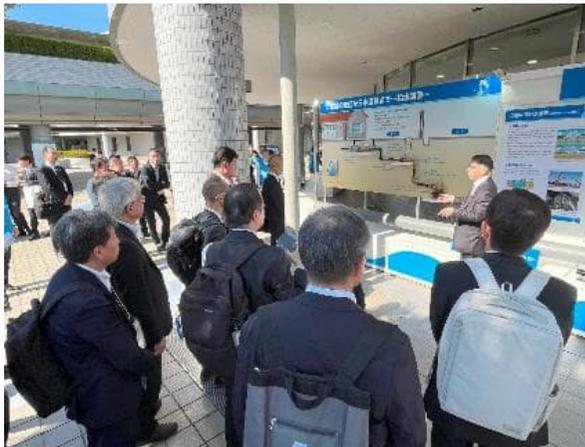
■ 一般向けの水道広報の加速化 **令和6年度 = “水道PR元年”**

- はまっ子水道まつり
 - 開催日：令和7年8月1日
 - 主催：横浜市水道局
 - 参加人数：800名
- **体験型水道イベント“蛇口の奥を見てみよう”**
 - 開催日：令和7年10月29～31日（令和7年度全国会議・2025広島水道展に併設）
 - 共催：日本水道工業団体連合会
 - 協力：広島市水道局
 - 参加人数：1,940名（うち、小学校5校287名）

4. 体験型水道イベント“蛇口の奥を見てみよう”

■ 実施のポイント

- 記憶に長く残る体験型のコンテンツを中心に設置
- 水道界全体の広報の加速化
- 一般の方への対応を通じた職員の人材育成



3. 体験型水道イベント“蛇口の奥を見てみよう”

■ 展示物 (抜粋)

- ① 水の飲み比べ：
水道水とミネラルウォーター
- ② 触れる資機材展示：
実物水道管、バルブ 等
- ③ 浄水処理実験
- ④ 水道水源林のはたらき実演
(東京都水道局協力)
- ⑤ 給水車からの応急給水体験
(広島市水道局協力)



① 同じ温度に冷やした
2種類の水の飲み比べ



② 普段は見られない
水道用具の仕組みを確認



③ 参加者一人一人が
ミニ浄水場に



④ 水道水源林(右)と手入れが
されていない森(左)の模型による実験



⑤ 災害時の対応や
水の重さを確認

4. 今後の展望

■ 水道広報のさらなる推進

- 令和7年度実施内容（反省・課題）を踏まえたイベントの進化・深化
- 水道界全体の情報発信力（考え方、テクニック、意識等）の底上げ
 - 情報発信スキルアップセミナー（令和5年度より継続実施）
令和7年度は、従来からの**デザイン**編に加え、**文章**編を新設
- 水道界（産官学）一体となった水道広報機運の醸成

▶ 適時適切な水道広報により新たな**水道ファン**の獲得!!

ご清聴ありがとうございました

日本水道協会公式 X
@suidou_kyoukai



【問い合わせ】

日本水道協会調査部調査課

T E L : 03-3264-2359

MAIL : cho-sa@jwwa.or.jp